

今月のコラム

土壌を考える

5月25日に、日本造園学会全国大会において、「環境新時代における植栽基盤整備の課題」という分科会が行われました。緑化工事における基盤としての土壌が、近年急激に変わり旧来の常識が通用しないこと、従来客土として使用されてきた良質土の入手が困難・価格上昇で使用しづらいことなどの問題が提起されました。

土・土壌と一様に呼ばれていても、それを使用する側から見ると、要求性能、基準値は異なります。



(有)緑花技研 藤田 茂

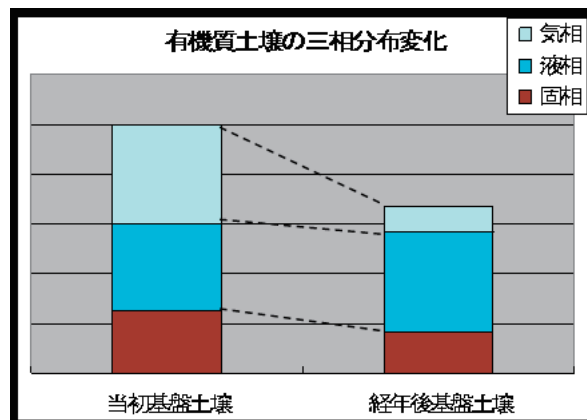
建築、土木における土 建築、土木において土は単なる無機物であり、物を支える力学的な力及び透水性で土の良否を判断します。したがって有機物を多く含んだ土、粘土分の多い土は歓迎されず、砂質土、砂利混じり土が良い土とされます。

林業の土 林業においては、ほぼ自然状態の成層土壌を利用します。広大な面積であるため、土壌の質にあわせて植栽する樹種を変える程度で、土壌をどうこうすることはありません。しかし、植物を生育させるための基本的土壌性能として、保水性、透水性、通気性、腐植含量、肥料分、保肥性及び土壌の厚さは木材の生育に大きく影響します。

農業の土 収穫量が収入に直結する農業では、その収入と経費のバランスで物事を考えることとなります。経費をかけて良質の土壌にすれば収穫が増し収入が増えるため、耕耘、施肥、土壌改良等を植え付け前には必ず行っています。

造園の土 造園での土壌は、経費をかけて良質の土壌にしても収入が増えるわけではなく、返って生長すぎると剪定等の経費が増大してしまうため、枯れない程度の土壌の質、量で良いとされてきました。しかし、近年都市部の土壌環境が悪くなってきており、植え穴客土だけでは良好な生育が望めない例が増加しています。ゴミの埋立地において赤土で覆土した場所では30年後に調査した所、表層から15cm程度が黒土化していました。

屋上緑化の土 屋上緑化を行うためには、土壌を持ち込まなくてはなりません。建築物の上に乗せるため、軽量性が重視されますが、他は造園の土と大差ない性能、基準値でよいとされています。しかし、保水性に関してはその性能の良否で土壌厚を変えることもあるため、高い保水性が求められますが、軽量性との兼ね合いで極端によくすることも出来ません。近年、有機質を多く含んだ土壌が開発されていますが、経年的な嵩変化、空隙寸法の変化が起こりやすいのが欠点です。菜園等頻繁に耕耘したり、増し土する場合は良いのですが、樹木植栽では生育不良に陥りやすくなります。





通常総会 今年度は“ポタジェワークショップ”を連続開催 記念セミナー・懇親会は、若い講師に盛り上がる

当会は、6月9日午後、東京港区の虎ノ門パストラル会議室において、21年度通常総会と記念セミナーを、約70名参加のもと開催した。

総会では、21年度事業として、セミナーを中心に行うことになったが、庭やガーデニングに対するライフスタイルが大きく変わろうとしている時流をとらえ、これをビジネスチャンスとするべく、「家庭菜園「ポタジェ」で勝ち抜くワークショップ」シリーズを開催することになった。第1回目を7月22日に京都で、9月に八ヶ岳、11月に千葉、1月横浜と全国縦断で行う予定。

総会に続いて、神戸国際大学教授・(株)アールフュージョン代表取締役の白砂伸夫氏、イラストレーター、ガーデンデザイナーの五嶋直美氏の二人の講演が行われた。情報交換・懇親会場では、若い講師の書籍販売・サイン会も開かれ、華やかに盛り上がっていた。



盛り上がるセミナー会場

“ポタジェガーデン”で勝ち抜く新ワークショップ商談会シリーズ第1回 今年の春の野菜売場での成功事例…極秘情報満載!

日時 平成21年7月22日(水)午後13:30～16:50、～情報交換・懇親会(別途4,000円)

場所 京都テルサ 京都市

会費 会員 2,000円、一般 3,000円

プレゼンテーション企業

- ①野菜苗 (株)JA東海グリーン 代表取締役社長 前田 悟氏
- ②野菜苗 (有)角田ナーセリー 専務取締役 角田 ミサ子氏
- ③用土 (株)花ごころ 営業部 マネージャー 前田 勇夫氏
- ④肥料 (株)ハイポネックスジャパン テクニカルサポート室部長 吉田 健一氏
- ⑤資材 クラーク(株) 取締役統括部長 武藤 英司氏
- ⑥容器 アップルウェア(株) 東日本地区 エリアセールス 堤 充弘氏

コーディネーター ハクサンインターナショナル(株) 代表取締役社長 水野 隆氏

問合せ先 NPO法人ガーデンを考える会 TEL052-571-7911
E-mail npogarden@green-joho.jp 詳細は URL <http://www.npogarden.com/>

資格取得募集

◆スカイフロントコーディネーター認定試験、講習会の参加者募集

NPO屋上開発研究会による「スカイフロントコーディネーター」第6回認定試験および講習会の主な実施概要は次の通り。

【認定試験】 日程 / 11月3日 受験料 / 1万5百円 受付 / 6月1日～9月30日まで 会場 / 東京(東京ビッグサイト)、名古屋(名古屋市中企業福祉会館)、大阪(大和ハウス工業(株))、福岡(ももち文化センター)の4会場

【講習会】 8月下旬～9月中旬、4会場・参加費 / 22,050円(税込)

☆詳細はホームページから 屋上開発研究会ホームページ <http://www.sky-front.or.jp/>

◆グリーンアドバイザー認定講習・試験の参加者募集

(社)日本家庭園芸普及協会による「第18回グリーンアドバイザー認定講習・試験」の募集概要は下記の通り。

【講習・試験実施日および会場】 東京A会場/8月20日・21日 大阪会場/8月25日・26日 福岡会場/8月27日・28日
東京B会場/9月1日・2日 受講・受験料 / 39,000円

問い合わせは同協会 TEL 03(3249)0681 URL <http://www.kateiengei.or.jp>

◆市民農園コーディネーター研修会・実技講習の参加者募集

日本市民農園連合および地域市民農園協会による「平成21年度市民農園コーディネーター資格試験」

(受付9月10日～10月20日、試験11月8日)に先立つ研修・実技講習は下記の通り。

【研修会】 日程 8月22日 会場 千葉県青少年女性会館 受講費 / 一般4,000円

【実技講習】 日程 10月11日 会場 千葉市萩台市民農園 受講費 / 一般2,500円

問い合わせ 千葉県市民農園協会 廻谷義治 TEL043(287)2364



カエデ
kaede

ガーデニングブームをリードしてきたガーデニング誌

BISES(ビズ)通巻100号を迎える

ガーデニングブームをリードしてきたガーデニング誌『BISES(ビズ)』が5月16日発売の夏号で通巻100号を迎えた。

1992年に創刊し、やがてガーデニングは大きなブームとなり1997年には新語流行語大賞に選ばれた。現在の出版社は3社目のベネッセコーポレーションだが、変わらぬ編集方針に多くのファンに支持されている。

創刊当時の編集長八木波奈子氏は、当会設立総会時の記念セミナーの講師をつとめていただき、その後もジャパンガーデニングフェアで講演をしていただいています。



100号を迎えVサインで喜ぶ八木編集長とビズ100号

関西エクステリアフェア 2009

テーマ展示は～“庭・食”の幸せ～

4回目を迎えた関西エクステリアフェア2009が6月11・12日、インテックス大阪で開かれた。出展は昨年より3社増えて49社となり、入場者は、インフルエンザの影響が危惧されたが過去最多の昨年を上回る1万1915人であった。会場は、多くの出展者が開放的なレイアウトだったので、来場者の流れが片寄ることなく全体的に広がって、出展者来場者ともに十分商談ができたようだ。

今年のテーマ展示は、～“庭・食”の幸せ～と題し、「果樹や野菜、ハーブ等の食べれる植物を育て庭で料理してご夫婦やご家族で“食”をテーマにした、小さな幸せ庭空間」を提案したが、「ガーデンキッチンをイメージしたセットに関心が集まっていた」(関係者)。



18のテーマを提案したテーマ展示の一角

会員紹介

ジャービス商事

当社は、チーク材を使ったガーデニングファニチャーを主軸に木製物置、アーチなどガーデンに関わる商品を取り扱っております。チークファニチャーは当社インドネシアウッド工場にてすべて1点1点手作業にて製作し、本物を求めるお客様から長年にわたりご好評いただいております。

また、2009年よりインドネシアで新たにアイアン工場も稼働し、アーチ、フラワーバスケット、手摺といった商品を熟練職人が手作業で作っております。

今後は木製品のみならず、アイアン製品においても、お客様の多様なニーズに応えることを目指しております。本物のチーク、手作りならではの良さを、是非実感してみてください。

お問い合わせ

〒321-0158

栃木県宇都宮市西川田本町3-24-17

TEL 028-615-2666

FAX 028-615-2662

URL <http://www.jarbis.com/index.html>



レインボーベンチ



東京ショールーム



カエデ
kaede

コラム

外構とは

先日の4月に開催されましたワークショップにてパネリストとして参加させていただき、今回このようなコラムへのお話もいただきまして大変光栄に思います。

お話を頂き、すぐにこれまでの会報を拝見しました。

皆様経験や実績がある方々のお話ばかりで私のような若輩者が話す内容でいいのか悩んでおりましたが、せっかく頂きましたこの機会を今後生かせるようお話させていただきたいと思います。

5月中ごろに私どもの社内研修にて、皆様もご存知の方が多いと思いますが造園家の野村勘治先生の講義を受けました。前々よりお名前と著書は知っておりましたが、実際の講義を受けられることにとても期待をしておりました。

庭とは「土(に)・場(わ)」というお話から始まり、建築史ならぬ造園史を短時間であったにもかかわらず、スライドと流れるようなお話でご説明いただきました。

その中で、「昔から人は自然の素晴らしい景色を自分の身近で感じていたため、庭を造り・建物を作り・生活をしていった」といったお話をされておりましたが、私はまさにそのとおりと感じました。

私は前職で住宅の設計に携わっておりましたが、当初は建物中心の配置計画やゾーニングを行ない外構などまったく考えず、いかに建物でお客様の満足を得られるかを日々考えていました。ある時期にお客様がお引渡しの時に私に仰った言葉があります。「建物だけで寂しいね、まるで草原の中に建てたみたいだ。」その時は気にも留めていませんでしたが何か引がかかっているような気持ちになったのを覚えています。

今の職に就き、日々業務を行なっていく中でお客様が仰った言葉が実感できました。

やはり人でも物でも、1つでは存在し得ないのではないのでしょうか。

建物が有り、外構が有り、町並みが有り、地域が有り、国が有る。私たち人の住まいに携わる者として、後世に残る素晴らしい景色を創っていく仕事が出来ます。

「景色を創る」ことを目標に日々精進していきたいと思います。



セキスイエクステリア(株)
金澤 貴司

事務局だより

ガーデンを考える会
事務局 TEL 052-571-7911
FAX 052-571-2208

新入会員紹介です。皆さんよろしく。

- 正会員『日本ポリ鉢販売株式会社』岐阜県美濃加茂市に本社があり、ポリポットの製造販売を主とした農園芸資材のメーカーです。http://www.kpot.co.jp
- 個人会員『鈴木亨さん』盆栽で著名な大樹園(岡崎市)の代表です。
- 個人会員『白川輝久さん』経営コンサルタント会社で知られる船井総合研究所(大阪市)の園芸コンサルタントです。